

## 1 本時のねらい

友だち同士で互いに助け合うことの大切さ感じ、友だちを大切にしようとする態度を育てる。**(友情、信頼)**

## 2 本時の展開

学習活動	指導上の留意点
<b>1</b> 友だちとの関係について考える。(3分)	
<b>発問①</b> 「友だちと聞いてどんなことをイメージしますか。」	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 仲良く遊ぶ ・ 笑う ・ 助ける</li> <li>・ 支える ・ 一緒に帰る など</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 本時のねらいについて関心もてるように、「友だち」から連想する言葉を出させる。</li> <li>・ 時間削減のため、事前アンケートをもとに結果を提示してもよい。</li> </ul>
<b>2</b> 番組を視聴する (10分)	
<b>3</b> 【ぼくの友だち】を視聴して、(友情)について話し合う。	
<b>発問②</b> 「【ぼくの友だち】を見て、どの場面について考えたいですか。」(3分)	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ たっくんがいじめられていた場面</li> <li>・ 最後の場面でいじめっ子に「友だちなのか？」って聞かれた場面</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ えいきくんが言おうとしてやめる場面で終わっているという番組の特性を利用し、最後の場面の児童の反応から授業を展開していてもよい。</li> </ul>
<b>発問③</b> 「最後の場面で、えいきくんはどんな気持ちでいるのでしょうか。」(3分)	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ たっくんがいじめられていたなんて信じられない。</li> <li>・ 学校に来るんじゃなかった。</li> <li>・ たっくんを助けなければ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 思ってもいなかったたっくんの姿を見て、自分はしたらよいか戸惑うえいきくんに共感できるようにする。</li> </ul>
<b>発問④</b> (主発問)「最後の場面でえいきくんは、どう答えるでしょうか。」(18分)	
補助発問：「いじめられているたっくんを見て、えいきくんはどんなことを考えているのでしょうか。」	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ これまでたくさん助けてくれたから、友だちだと言った方がいいと思う。</li> <li>・ 自分が学校に行けるようになったのは、たっくんのおかげだから、今度は助けてあげた方がいいのではないかな。</li> <li>・ 頭では分かっているけど、怖くてできないのではないかな。</li> <li>・ たっくんはいつからいじめられていたのか。助けてほしくて自分のところに来ていたのではないかな。</li> <li>・ 自分もウソをつかれていたのか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 迷っているという背景には、これからの友だちとの生活がどうなっていくのか、えいきくんなどの複雑な思いがあるということを確認する。</li> <li>・ 「友だちだと答える」という理由の中でも、たっくんがえいきくんにどのように接してきたかということを取り上げて、互いに助け合うことの大切さを考える。</li> <li>・ どうすべきかは分かっているけれども、なかなか行動につなげることのできない人間の弱さについて考える。</li> </ul>
<b>4</b> 自己をふり返り、見つめる。(8分)	
<b>発問⑤</b> 「友だちのことを思って、助ける行動をとったことはありますか。」	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 発言できなくて困っている時に代わりに発言してくれた友だちに対して、自分が今度は助けないといけないと思って行動したことがある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ねらいとする道徳的価値について、自己の生き方として実現していこうとする思いを深めるために、友だち同士で互いに助け合った経験を想起する。</li> </ul>